



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社 妙徳

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

2020年8月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,084	8.8	165	29.1	179	28.4	120	33.4
2019年12月期第2四半期	1,189	14.7	128	42.5	139	39.6	90	48.6

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 92百万円 (1.9%) 2019年12月期第2四半期 94百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	77.25	77.24
2019年12月期第2四半期	58.82	58.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,070	4,668	91.5
2019年12月期	5,034	4,581	90.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 4,640百万円 2019年12月期 4,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		20.00		20.00	40.00
2020年12月期		20.00			
2020年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,142	6.6	239	11.8	262	14.4	171	15.8	109.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	1,657,000 株	2019年12月期	1,657,000 株
2020年12月期2Q	100,356 株	2019年12月期	114,331 株
2020年12月期2Q	1,555,373 株	2019年12月期2Q	1,531,194 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界経済が大きく減速し、厳しい状況となりました。日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動全般に大きなダメージを与え、先行き不安からの設備投資の縮小も重なり、非常に厳しい局面を迎えています。

このような環境下、当社グループは、将来を見据えた製品開発と、主力製品の基礎研究を強化する取り組みを行いました。販売面においては、新型コロナウイルスの影響による営業活動及び展示会等の自粛の中、各種新製品とロボット関連製品の販売に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、連結売上高は1,084,507千円(前年同期比91.2%)、連結経常利益は179,640千円(前年同期比128.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,147千円(前年同期比133.4%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販と半導体及び電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。国内においても、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安から、設備投資の縮小がありました。

この結果、売上高は792,820千円(前年同期比98.0%)となりました。営業利益については、営業活動や展示会等販売活動の自粛による販売費及び一般管理費の減少により、170,996千円(前年同期比153.8%)となりました。

(韓国)

引き続き、半導体製造装置業界や液晶関連設備業界への製品投入を行い、他方では、一般産業機器の自動化装置への拡販活動を行いました。世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による、大手企業の設備投資縮小の影響を受けました。

この結果、売上高は161,528千円(前年同期比68.8%)となりました。営業損失については、16,486千円(前年同期は営業損失9,257千円)となりました。

(中国)

早期の新型コロナウイルス感染対策により、経済活動は回復基調にありましたが、世界的な感染拡大の影響により、売上高は68,402千円(前年同期比90.8%)となりました。営業利益については、仕入価格の増加により、9,547千円(前年同期比44.7%)となりました。

(その他)

タイ国では、タイ国及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は61,756千円(前年同期比88.3%)となりました。営業利益については、1,497千円(前年同期比30.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ112,440千円増加し、2,855,535千円となりました。これは主として、現金及び預金が186,899千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が10,363千円、電子記録債権が79,394千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ76,054千円減少し、2,214,889千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ36,385千円増加し、5,070,424千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ49,683千円減少し、250,901千円となりました。これは主として、未払法人税等が37,592千円増加したのに対し、流動負債のその他が91,117千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ719千円減少し、151,236千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ50,403千円減少し、402,137千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ86,789千円増加し、4,668,286千円となりました。これは主として、利益剰余金が89,293千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は91.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ192,502千円増加し、1,821,432千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益179,802千円に加え、減価償却費95,655千円、売上債権の減少額86,747千円等の増加要因に対し、たな卸資産の増加額27,236千円、法人税等の支払額23,639千円等の減少要因により301,916千円の資金収入(前年同期は389,436千円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出65,299千円、無形固定資産の取得による支出28,804千円等の減少要因により100,179千円の資金支出(前年同期は79,599千円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

新株予約権の行使による自己株式の処分による収入26,812千円の増加要因に対し、配当金の支払額30,708千円等の減少要因により3,950千円の資金支出(前年同期比は36,258千円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想(2020年2月14日)から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,153	1,931,052
受取手形及び売掛金	311,296	300,932
電子記録債権	253,633	174,239
製品	176,791	186,911
仕掛品	128,545	129,434
原材料	90,567	102,995
その他	38,417	30,296
貸倒引当金	△311	△328
流動資産合計	2,743,094	2,855,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,427,666	1,425,214
減価償却累計額	△769,269	△788,305
建物及び構築物(純額)	658,396	636,909
機械装置及び運搬具	1,018,261	1,015,638
減価償却累計額	△738,239	△763,201
機械装置及び運搬具(純額)	280,021	252,437
土地	707,598	706,994
その他	727,164	734,429
減価償却累計額	△627,743	△642,915
その他(純額)	99,421	91,514
有形固定資産合計	1,745,438	1,687,855
無形固定資産	102,079	85,581
投資その他の資産		
投資有価証券	381,009	377,173
繰延税金資産	461	5,292
その他	61,955	58,985
投資その他の資産合計	443,426	441,452
固定資産合計	2,290,943	2,214,889
資産合計	5,034,038	5,070,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,978	32,869
未払法人税等	29,620	67,212
賞与引当金	29,916	28,866
その他	213,070	121,953
流動負債合計	300,585	250,901
固定負債		
退職給付に係る負債	138,579	138,840
繰延税金負債	862	7
その他	12,513	12,387
固定負債合計	151,955	151,236
負債合計	452,541	402,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,002,571	1,012,960
利益剰余金	2,789,767	2,879,061
自己株式	△136,246	△119,618
株主資本合計	4,404,217	4,520,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,701	130,975
為替換算調整勘定	9,389	△10,524
その他の包括利益累計額合計	147,091	120,450
新株予約権	1,810	—
非支配株主持分	28,377	27,306
純資産合計	4,581,497	4,668,286
負債純資産合計	5,034,038	5,070,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,189,286	1,084,507
売上原価	556,996	466,340
売上総利益	632,290	618,167
販売費及び一般管理費	504,073	452,613
営業利益	128,216	165,554
営業外収益		
受取利息	1,748	2,523
受取配当金	6,901	7,324
受取地代家賃	6,217	5,724
その他	3,613	3,927
営業外収益合計	18,481	19,499
営業外費用		
売上割引	94	79
為替差損	1,016	689
減価償却費	4,598	3,783
その他	1,050	862
営業外費用合計	6,759	5,414
経常利益	139,939	179,640
特別利益		
固定資産売却益	232	162
特別利益合計	232	162
特別損失		
固定資産除却損	1,271	0
特別損失合計	1,271	0
税金等調整前四半期純利益	138,900	179,802
法人税、住民税及び事業税	39,019	62,379
法人税等調整額	6,726	△2,747
法人税等合計	45,746	59,632
四半期純利益	93,154	120,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,096	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,058	120,147

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	93,154	120,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,877	△6,725
為替換算調整勘定	△26,765	△21,008
その他の包括利益合計	1,112	△27,734
四半期包括利益	94,267	92,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,543	93,506
非支配株主に係る四半期包括利益	3,723	△1,070

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	138,900	179,802
減価償却費	90,905	95,655
有形固定資産除却損	1,271	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△232	△162
貸倒引当金の増減額(△は減少)	68	32
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,710	△909
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,410	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,973	268
受取利息及び受取配当金	△8,649	△9,847
売上債権の増減額(△は増加)	110,973	86,747
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,569	6,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	85,563	△27,236
その他	3,465	△20,139
小計	397,549	310,223
利息及び配当金の受取額	8,649	9,847
法人税等の還付額	1,952	5,484
法人税等の支払額	△18,715	△23,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,436	301,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△117,171	△108,889
定期預金の払戻による収入	117,171	108,889
投資有価証券の取得による支出	△6,118	△6,254
有形固定資産の取得による支出	△70,821	△65,299
有形固定資産の売却による収入	432	178
無形固定資産の取得による支出	△3,092	△28,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,599	△100,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△55
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	9,918	26,812
配当金の支払額	△46,177	△30,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,258	△3,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,087	△5,284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	267,490	192,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,207	1,628,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,479,698	1,821,432

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	809,127	234,902	75,338	1,119,368	69,918	1,189,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	156,547	22,494	—	179,042	—	179,042
計	965,674	257,397	75,338	1,298,410	69,918	1,368,328
セグメント利益又は損失(△)	111,212	△9,257	21,349	123,304	4,912	128,216

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	123,304
「その他」の区分の利益	4,912
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	128,216

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	792,820	161,528	68,402	1,022,751	61,756	1,084,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133,818	60,847	—	194,666	—	194,666
計	926,638	222,376	68,402	1,217,417	61,756	1,279,173
セグメント利益又は損失(△)	170,996	△16,486	9,547	164,056	1,497	165,554

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,056
「その他」の区分の利益	1,497
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	165,554